

第31回日本災害医学会総会・学術大会 プログラム

1日目 3月19日(木)

■開会式

1日目(3月19日) 08:30～08:50

第1会場(4Fマリンホール)

■特別企画1(大会ホームページをご覧ください)

1日目(3月19日) 15:00～16:00

第1会場(4Fマリンホール)

座長 石井 正(東北大学病院 総合地域医療教育支援部)
牧野 秀夫(新潟大学 自然科学系(工学))

1-SS1 (新潟大学企画) 産学連携で取り組む災害医療DX -新潟大学の取り組み

リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 新潟支社
コーディネイト営業部 プロダクトコーディネイトグループ 大竹 隆生
ボイット株式会社 永富 泰高
株式会社BSNアイネット 成長戦略室 坂田 源彦
新潟大学大学院医歯学総合研究科 新潟地域医療学講座 災害医学・医療人育成部門 高橋 昌

■特別企画2(大会ホームページをご覧ください)

1日目(3月19日) 14:00～15:30

第2会場(2FスノーホールA)

座長 東 賢一(近畿大学 予防医学・行動科学教室)
近藤 久禎(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-SS2 (衛生学会との合同企画) 衛生学×災害医学でひらく健康危機管理キャリア ～学会横断で考える人材育成の未来～

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子
日本衛生学会/近畿大学 予防医学・行動科学教室 東 賢一
日本災害医学会/国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 近藤 久禎
日本衛生学会/防衛医科大学校 衛生学公衆衛生学講座 岩澤 聡子
日本災害医学会/国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 赤星 昂己
日本衛生学会/日本災害医学会/浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

■特別企画3(大会ホームページをご覧ください)

1日目(3月19日) 16:00～17:30

第2会場(2FスノーホールA)

座長 大友 康裕(国立病院機構 災害医療センター)
米田 雅子((一社)防災学術連携体/宇都宮大学)

1-SS3 (防災学術連携体共同企画) 災害を科学する～地震研究の最先端～

防災学術連携体/東京大学 平田 直
防災学術連携体/東京科学大学 和田 章
新潟大学 災害・復興科学研究所 卜部 厚志

■特別企画4

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第4会場 (2F中会議室201)

座長 小笠原 賢 (青森県立中央病院)

1-SS4 (緊急報告) 青森県東方沖地震における遠隔地災害拠点病院の一部避難の判断過程
— 異なる立場からみた判断と地域特性の共有 —青森県立中央病院 小笠原 賢
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 辻 貴清
むつ総合病院 看護局 中島さおり
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博

■特別企画5

1日目 (3月19日) 09:00～9:30

第5会場 (3F中会議室301)

座長 小井土雄一 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-SS5 (国際委員会企画) 日本の国際医療支援40年の歩みとこれから

甲斐 達朗 (Chairman of Japan Advisory Committee for ARCH Project)

■特別企画6

1日目 (3月19日) 18:20～18:50

第5会場 (3F中会議室301)

1-SS6 (国際委員会企画) Closing Session

■特別企画7

1日目 (3月19日) 15:00～16:30

第7会場 (展示ホールA1(特設))

(学会主導研究) 成果報告会

座長 越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)

原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

1-SS7-1 「潜在DMAT隊員の実態調査」初年度経過報告

福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 菅谷 一樹

1-SS7-2 寒冷地環境が災害救援活動及び傷病者に与える影響

日本医科大学多摩永山病院 救命救急科/日本医科大学 救急医学教室/
国際緊急援助隊 救助チーム医療班 阪本 太吾1-SS7-3 災害用段ボールベッドにおける簡易体圧分散用具の有効性：
ランダム化クロスオーバー試験

藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 羽柴 涼太

1-SS7-4 厳冬期から酷暑期まで、過酷な環境下で活動する救助隊員の脱水を防ぐ最適な経口
補水の検討

旭川医科大学 脳神経外科学/札幌東徳洲会病院 高橋 未来

1-SS7-5 危機時における医療体制の公正性と持続性にかかるELSIの検討

京都大学大学院文学研究科 三羽恵梨子

1-SS7-6 医療的ケア児の受け入れのための福祉避難所の課題と対応方策

鳥取大学医学部 脳神経小児科学 中村 裕子

- 1-SS7-7 地域在住高齢者における災害関連ヘルスリテラシー尺度の開発
筑波大学人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ヒューマン・ケア科学学位プログラム 五味 朝樹
- 1-SS7-8 水害が被災地の死因に与える影響に関する研究
岡山大学病院/厚生労働省 飯田 淳義
- 1-SS7-9 災害支援に関連するメンタルヘルスの支援者現況調査
筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 医学学位プログラム 博士課程 伊藤結加里
- 1-SS7-10 病院豪雨災害対策の標準化に向けた客観的判断基準構築の試み
秋田大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座 奥山 学
- 1-SS7-11 危機災害派遣者は本質的には要配慮就労者なのではないか？
－ 職場職員の危機災害派遣者受容度とその関連要因に関する実態調査
3年目経過報告
福島県立医科大学 齋藤 由美
- 1-SS7-12 脆弱な人口集団に関する保健医療・災害リスク管理政策アプローチの国際比較
東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 医療イノベーションコース/
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 加藤真喜子
- 1-SS7-13 災害時のエッセンシャルワーカーに対する育児支援の現状と
必要な支援策に関する調査
名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学 今井 一徳

■特別企画8 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 16:50～18:20

第7会場 (展示ホールA1(特設))

- 1-SS8 災害対応の壁を越える思考法：決め打ちと臨機対応の統合による新たなアプローチ
東北大学 災害科学国際研究所 佐々木宏之
東京都立病院機構 法人本部 中島 康

■教育講演1

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第1会場 (4Fマリンホール)

座長 川原千香子 (帝京大学 シミュレーション教育研究センター)

- 1-EL1 災害医学研究
学会発表を良質な論文に育てるためのポイント
国立病院機構 北海道医療センター 救急科/編集委員会 七戸 康夫

■教育講演2

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第2会場 (2FスノーホールA)

新潟大災害・復興研×東北大災害研合同教育セッション
「災害医療のために災害を理解する 災害科学概論」

座長 卜部 厚志 (新潟大学 災害・復興科学研究所)
佐々木宏之 (東北大学 災害科学国際研究所)

- 1-EL2-1 災害医療従事者に知っておいて欲しい地震防災の基礎知識
東北大学 災害科学国際研究所 福島 洋

- 1-EL2-2 災害医療従事者に知っておいて欲しい津波防災の基礎知識
東北大学 災害科学国際研究所 サッパシーアナワット
- 1-EL2-3 豪雨災害の発災時対応のために知っておくべきこと
東北大学 災害科学国際研究所 森口 周二
- 1-EL2-4 日本海沿岸の地形・地質環境での地震災害の特徴
新潟大学 災害・復興科学研究所 卜部 厚志

■教育講演3

1日目 (3月19日) 17:45～18:45

第2会場 (2FスノーホールA)

社会医学系専門医講習：共通講習（医療安全）

座長 中島 成隆（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 救急科）

- 1-EL3 根本原因分析法（RCA）を災害医療の課題解決に応用しよう！
新潟大学大学院医歯学総合研究科 新潟地域医療学講座 災害医学・医療人育成部門 高橋 昌

■教育講演4

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第3会場 (2FスノーホールB)

座長 森田紀代造（東京慈恵会医科大学 心臓外科講座）

- 1-EL4 平時と災害時のマネジメント比較～CSCATTTを経営学的に読み解く～
神戸赤十字病院 築部 卓郎

■シンポジウム1

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第1会場 (4Fマリンホール)

中越のいま～中越地震の振り返り～

座長 井口清太郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野）
内藤万砂文（NPO災害医療ACT研究所／元長岡赤十字病院救命救急センター）

- 1-SY1-1 中越地震を省みる
新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野 井口清太郎
- 1-SY1-2 小千谷総合病院における避難活動を振り返る
長岡赤十字病院 黒崎 祐也
- 1-SY1-3 プレイバック中越地震 一初めて被災地に立ったあの日から現在の支援を考える一
医療法人社団竹内会 竹内病院 ヴィラ菅谷／新潟薬科大学 臨床薬学教育研究センター 関川 敬
- 1-SY1-4 2004年中越地震における透析医療被害と災害対策体制の構築
立川総合病院 青柳 竜治
- 1-SY1-5 中越地震において新潟県福祉保健部が行った活動
新潟県三条保健所 鈴木 幸雄
- 1-SY1-6 中越地震を振り返って
一 災害時医療はどう変わった？ 今後の課題は？ 一
元長岡赤十字病院／NPO災害医療ACT研究所 内藤万砂文

■シンポジウム2

1日目 (3月19日) 17:45～19:15

第1会場 (4Fマリンホール)

H28 熊本地震を振り返る

座長 近藤 久禎 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
若井 聡智 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-SY2-1 熊本地震での災害医療コーディネーターの活動

産山村診療所 井 清司

1-SY2-2 熊本地震・東熊本病院における病院避難の決断と安全管理 —DMAT安全管理教育の転換点となった活動を振り返る—

鹿児島市立病院 吉原 秀明

1-SY2-3 平成28年熊本地震を振り返る

阿蘇立野病院 上村 晋一

1-SY2-4 熊本地震 その時阿蘇は！

阿蘇医療センター 甲斐 豊

■シンポジウム3

1日目 (3月19日) 16:05～17:35

第3会場 (2FスノーホールB)

災害医療ロジスティクス専門家認定者の更なる貢献を目指した制度化についての検討

座長 中田 正明 (兵庫県災害医療センター／神戸赤十字病院 放射線課)
真瀬 智彦 (岩手医科大学 救急・災害医学講座)

1-SY3-1 災害医療ロジスティクス専門家の有効活用のための制度化を考える

神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

1-SY3-2 災害対策室5年間の歩みから考えるロジスティクス専門職の必要性

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 災害対策室 西 健太

1-SY3-3 病院防災担当者としての災害医療ロジスティクス専門家の配置の意義

社会福祉法人東京有隣会 有隣病院 楠 孝司

1-SY3-4 感染対策加算の変遷をたどる：制度化の背景と評価の視点

コネクト合同会社 山口 征啓

1-SY3-5 災害医療ロジスティクス専門人材の専任配置による診療報酬等の 医療機関のインセンティブ創設における制度的課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 赤星 昂己

■シンポジウム4

1日目 (3月19日) 10:35～12:05

第4会場 (2F中会議室201)

災害時急性期傷病への挑戦ー現場から命をつなぐ体制づくり

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)

大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)

- 1-SY4-1 大規模災害時における圧挫症候群 (クラッシュ症候群) 対応の現状と課題
ー現場から支える急性期傷病体制の強化に向けてー

町田市民病院 看護部 HCU 矢田 哲康

- 1-SY4-2 2023年トルコ・シリア地震におけるクラッシュ症候群の
予後指標に関する文献レビュー

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 上村 浩貴

- 1-SY4-3 日本整形外科学会災害対応委員会の取り組み

鳥取大学医学部附属病院 生越 智文

- 1-SY4-4 国際消防救助隊と医療班の連携訓練によって得られた国内の救助活動における課題

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科/国際緊急援助隊救助チーム医療班 高見 浩樹

- 1-SY4-5 都市型地震におけるモバイル診療から見えた外傷対応の要点

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 戸田はるか

- 1-SY4-6 工学・医学的データに基づく災害現場で求められるCSMと実践的な訓練開発

日本医科大学多摩永山病院 救命救急科/日本医科大学 救急医学教室/
国際緊急援助隊救助チーム医療班 阪本 太吾

■シンポジウム5 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 09:30～10:30

第5会場 (3F中会議室301)

(国際委員会企画) Learning from Korean Disaster Medicine:
MCM and CBRNE Preparedness – Japan–Korea Joint Session

座長 大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)

久保 達彦 (広島大学 公衆衛生学/京都大学 ヘルスセキュリティセンター)

- 1-SY5-1 Disaster medicine in Korea

Seoul National University College of Medicine and Hospital Department of Emergency Medicine
Kim Chu Hyun

- 1-SY5-2 Mass Casualty Management in Korea

Uijeongbu Eulji University Hospital, College of Medicine, Eulji University Department of Emergency Medicine
Yang Heebum

- 1-SY5-3 Medical Involvement in CBRNE and Terrorism Events

Kyungpook National University Hospital Department of Emergency Medicine Moon Sungbae

■シンポジウム6 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 15:00～16:30

第5会場 (3F中会議室301)

(国際委員会企画) Session on "Japan's Contribution to the Development and Strengthening of National EMT Systems"

座長 大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)
夏川 知輝 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)

- 1-SY6-1 Japan's contribution to the national EMT development in other countries.
Thonburibamrungmuang Hospital SILAPUNT PHUMIN
- 1-SY6-2 Strengthening Health System Resilience: Medical Response Lessons from Major Floods in Chiang Rai and Hat Yai
Division of public health emergency management, Ministry of public health Pintatham Kriangsak
- 1-SY6-3 ASEAN Regional Capacity on Disaster Health Management (ARCH) Plus Project and the Future of Regional Disaster Health Management in ASEAN
ASEAN Institute for Disaster Health Management (AIDHM) Donna Bella
- 1-SY6-4 Overview of the Ukrainian EMS system
Governmental organization
"Ukrainian scientific and practical center of emergency and disaster medicine of MoH of Ukraine"
Krylyuk Vitaliy
- 1-SY6-5 Capacity Building of Emergency Medical Services Personnel for War-Related Emergency Response in Ukraine
Governmental organization
"Ukrainian scientific and practical center for emergency and disaster medicine of MoH of Ukraine"
Tsymbaliuk Halyna
- 1-SY6-6 Impact of Pre-Transport Preparation on Medical Evacuation Outcomes in Severely Burned Patients: Evidence from the Ukrainian Context
Governmental organization
"Ukrainian scientific and practical center for emergency and disaster medicine of MoH of Ukraine",
"Artesans-ResQ Ukraine"
Bilokonov Illia

■シンポジウム7

1日目 (3月19日) 15:00～16:30

第6会場 (3F中会議室302)

マシギャザリング対応 EXPO2025 大阪・関西万博での多数来場者帰宅困難事案から考える

座長 織田 順 (大阪大学 救急医学)
鈴木 諭 (国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局/利根中央病院 救急科・総合診療科)

- 1-SY7-1 はじめに：近年のマシギャザリングイベント対策から考える、
大阪・関西万博医療のくみたち
2025年日本国際博覧会医療救護協議会/大阪大学 救急医学 織田 順
- 1-SY7-2 大阪万博開催中に発生した地下鉄停止に伴い発生した多数傷病者対応
～現場救護隊より活動報告～
フリーランス (看護師) 中野智香子

1-SY7-3 EXPO2025大阪・関西万博における医療提供環境と災害対応
大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 藤見 聡

1-SY7-4 医師がいない時間帯に、医療救護所は何をすべきか、何が出来るか？
ー EXPO2025大阪・関西万博の実務経験から ー
加納総合病院 大桃 丈知

1-SY7-5 そして僕は途方に暮れる
～オールナイト万博における統括医療責任者の対応
堺市立総合医療センター 災害時医療管理センター/堺市立総合医療センター 救命救急センター 中田 康城

■パネルディスカッション1

1日目 (3月19日) 16:05～17:35

第1会場 (4Fマリンホール)

熊本地震から10年ー専門職団体の歩みとこれからの災害支援体制

座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)
西 芳徳 (熊本県医師会)

1-PD1-1 DSAM災害支援鍼灸マッサージ師が災害支援にどうかかわるか
～熊本地震から能登半島地震まで～
DSAM 災害支援鍼灸マッサージ合同委員会/ (公社) 全日本鍼灸マッサージ師会災害対策委員会 仲嶋 隆史

1-PD1-2 熊本地震対応から始まった災害医療通訳ネットワーク～J-MINDの歩み～
J-MIND (日本災害医療通訳ネットワーク) 益田 充

1-PD1-3 鍼灸マッサージ業団による災害支援活動の変遷
～熊本地震から10年を振り返る～
公益社団法人日本鍼灸師会学術研修委員会/公益社団法人福岡県鍼灸マッサージ師会災害対策委員会/
DSAM災害支援鍼灸マッサージ合同委員会/巫仁東洋鍼灸療院 矢津田善仁

1-PD1-4 糖尿病患者に対するLINEによる災害時情報伝達システムの構築
熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 西田 健朗

■パネルディスカッション2

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第2会場 (2FスノーホールA)

「継ぎ目のない支援」の実現に向けて

平時からの保健・医療・福祉データ連携と制度的課題の克服

座長 稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
酒井 明子 (福井大学)

1-PD2-1 災害対応と生活支援：保健医療「福祉」の連携
八千代リハビリテーション病院/社会福祉士 松本 良二

1-PD2-2 地域医療連携と災害医療連携の融合
ー FLSとHaDROに基づく秦野赤十字病院の実践 ー
秦野赤十字病院 医療社会事業部/秦野赤十字病院 整形外科 松山 大輔

1-PD2-3 数理最適化技術を用いた災害時医療継続と在宅療養患者支援を目指した
データ連携モデルの構築
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域二次救急・災害医療推進講座 平山 隆浩

1-PD2-4 災害後の避難による被災者支援の途絶を防ぐためのAI、DXを用いた取り組み

福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 趙 天辰

■パネルディスカッション3

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第3会場 (2FスノーホールB)

災害医療コーディネーターの役割と実際の活動について

座長 金子 拓 (岩手医科大学 救急・災害医学講座)
北川 喜己 (名古屋掖済会病院 救命救急センター)

1-PD3-1 災害医療コーディネーターの新たな役割と広域災害対応における実践的取り組み

横浜市立大学救急医学・高度救命救急センター/
神奈川県災害医療コーディネーター／横浜市災害医療コーディネーター 竹内 一郎

1-PD3-2 災害医療コーディネーターとして地元自治体および医師会の災害準備に参画

市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎

1-PD3-3 国民保護における全島避難計画作成における地域災害医療コーディネーターの役割

沖縄県立八重山病院 竹島 茂人

1-PD3-4 熱海市伊豆山地区土砂災害の教訓から、災害医療コーディネーターのあり方と適性を考える

まつおか内科循環器クリニック／島田市立総合医療センター 救急科 松岡 良太

1-PD3-5 石川県災害医療コーディネーターとしての活動令和4年能登半島地震、令和5年能登半島地震、令和6年能登半島地震／大水害での経験

公立能登総合病院 圓角 文英

1-PD3-6 能登半島地震における看護師派遣調整の経験からみる
災害医療コーディネーターにおける看護職参画の意義と今後の展望

国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局 千島佳也子

■パネルディスカッション4

1日目 (3月19日) 17:45～19:15

第3会場 (2FスノーホールB)

多職種連携と情報システムによる災害支援体制

座長 中山 雅晴 (東北大学大学院医学系研究科 医学情報学)
藤原 弘之 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)

1-PD4-1 赤十字救護班要員への災害時情報システム教育の取り組みについて

総合病院山口赤十字病院 末永利一郎

1-PD4-2 災害支援現場での運用を見据えた電子版診療記録の導入と課題

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 佐々木綾菜

1-PD4-3 クラウド型通信アプリ Buddycom を用いた災害時の多職種連携情報共有体制の検証

青森県立中央病院 小笠原 賢

1-PD4-4 SNSを使った被災者側からの自発的情報提供体制は災害時多職種連携の中心として機能する

恵寿総合病院 新井 隆成

1-PD4-5 災害医療通訳支援の現状

～どこからが「医療」かを見極めるための情報収集活動等～

日本災害医療通訳ネットワーク (J-MIND) 益田 充

■パネルディスカッション5

1日目 (3月19日) 09:00～10:30

第4会場 (2F中会議室201)

災害医療に関わる人材養成の現状と課題

座長 石井 正 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部)
藤田 基 (山口大学大学院医学系研究科 救急医学講座)

1-PD5-1 災害医療人材養成プログラムの効果と今後の課題

熊本大学病院 災害医療教育研究センター 笠岡 俊志

1-PD5-2 災害医療人材養成の基本はやはりCSCATTTと災害サイクルの理解から
～専門職養成から一般市民講座までを比較して～日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・消化器外科・精神科・国際医療救援/
日本災害医療通訳ネットワーク (J-MIND) / JEMDRA-HAP (日本EMDR学会人道支援プログラム) /
心のサポートネット和歌山 益田 充

1-PD5-3 国内で育む日本の国際災害医療人材：JICA本邦研修の意義

兵庫県災害医療センター 甲斐聡一朗

1-PD5-4 DMAT事務局CMTPプログラム 2025年活動報告

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 上村 浩貴

1-PD5-5 復旧・復興支援を見据えた人材育成

－NGO登録隊員育成における成果と今後の展望－

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 林田 光代

1-PD5-6 福島県CBRNE研修

－原子力災害を経験した地域から発信する包括的教育プログラム－

総合南東北病院 薬谷 暢

■パネルディスカッション6

1日目 (3月19日) 16:05～17:35

第4会場 (2F中会議室201)

超高齢社会における災害対策

座長 田口裕紀子 (札幌医科大学保健医療学部 看護学科)
三村 誠二 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-PD6-1 高齢化地域における災害時福祉避難所運営の実態と示唆：能登半島地震の事例より

福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 学生 山村 桃花

1-PD6-2 令和6年能登半島地震における在宅避難者の健康・生活ニーズと支援の実際：
専門職支援者の視点から

東海大学医学部付属病院 加藤 鮎美

1-PD6-3 災害時における福祉施設支援体制の現状と課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 是枝 大輔

- 1-PD6-4 令和6年能登半島地震におけるDMATによる新たな搬送拠点の試み
—高齢化率が高い地域への災害支援課題—

珠洲市健康増進センター 奥佐 千恵

- 1-PD6-5 避難所等における指揮調整体制の確立に必要な体制

浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

■パネルディスカッション7 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 16:40～18:10

第5会場 (3F中会議室301)

座長 久保 達彦 (広島大学 公衆衛生学/京都大学 ヘルスセキュリティセンター)
豊國 義樹 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)

- 1-PD7 (国際委員会企画) Receiving International EMTs in Japan: Coordination Mechanisms and the Roles of Government and NGO Teams

■パネルディスカッション8

1日目 (3月19日) 09:00～10:30

第6会場 (3F中会議室302)

空港災害対応のこれまでの取り組みと課題

座長 川瀬 鉄典 (兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター)
成田麻衣子 (りんくう総合医療センター 危機管理室/救命診療科)

- 1-PD8-1 ICAO指針について

国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 空港技術課 空港保安防災企画室 中嶋 裕樹

- 1-PD8-2 2024年1月羽田空港航空機衝突事故対応を踏まえた
航空機事故初動対応要員育成・定期訓練導入の試み

日本赤十字社医療センター 国内医療救護部・救命救急センター/
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 情報企画連携室 鷲坂 彰吾

- 1-PD8-3 成田国際空港航空災害対策の取り組みと課題

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター/日本医科大学 救急医学教室 川上 翔平

- 1-PD8-4 福岡空港における空港災害対応体制構築の現状と課題

福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター/九州大学大学院 救急医学講座/
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 久城 正紀

- 1-PD8-5 関西国際空港における航空機災害対応の取り組み
—多機関連携と標準化の視点から—

りんくう総合医療センター 成田麻衣子

■パネルディスカッション9

1日目 (3月19日) 10:35～12:05

第6会場 (3F中会議室302)

産学官連携のあり方を探る

座長 島田 二郎 (福島県立医科大学附属病院)
中田 敬司 (神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科)

1-PD9-1 産学官連携とD-Call Net

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座 本村 友一

1-PD9-2 異分野共創のために作られた研究団体と公共性のある企業との産学連携について

兵庫県災害医療センター 島津 和久

1-PD9-3 災害医学分野における産学官連携の実践
～現場実証・実災害対応を通じた経験的知見～福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター／九州大学大学院 救急医学講座／
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学教室 久城 正紀

1-PD9-4 簡秀技術の発想と新理工学による災害医工学

大阪大学医学部／立命館大学総研 生田 幸士

1-PD9-5 聴覚障害者の災害・緊急時の情報保障 開発から社会実装へ

岡山大学病院聴覚支援センター 片岡 祐子

1-PD9-6 三重県紀宝町における産学官医連携推進事業
「みんなでえがく救護所研究会」設立の報告

紀宝町立相野谷診療所／紀宝町地域医療研修センター 森本真之助

■パネルディスカッション10

1日目 (3月19日) 17:45～19:15

第6会場 (3F中会議室302)

救援者の“見えない負担”と災害対応のこれからの支援者支援

座長 小井土雄一 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
高橋 晶 (筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター)

1-PD10-1 大規模災害におけるDMAT派遣時補償体制の変遷と課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 大場 次郎

1-PD10-2 医療救援者のメンタルヘルスに関する研究と
日本における災害派遣救援活動の研究の紹介

東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 浅岡 絃季

1-PD10-3 災害対応にあたる行政職員が受援にあたり抱える葛藤に関するインタビュー調査

東京都立大学／災害鍼灸マッサージプロジェクト 三輪 正敬

1-PD10-4 «傷病者はなくとも看護は活かせる»
～十島村悪石島での群発地震発災中における災害支援ナースの活動～

鹿児島市立病院 永尾 香織

1-PD10-5 被災地における船舶を活用した支援者休息拠点の重要性

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 杉本 陸

1-PD10-6 災害時の精神的支援者支援を産業メンタルヘルスの視点から考える

筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター／
筑波メディカルセンター病院 精神科 高橋 晶

■パネルディスカッション11

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第7会場 (展示ホールA1(特設))

BHELP10周年記念企画 多職種で作る幸せな避難所

座長 伊崎田和歌 (千葉県総合救急災害医療センター リハビリテーション科)
峯田 雅寛 (山形県立中央病院)

1-PD11-1 発災から生活再建まで支える避難所支援

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香

1-PD11-2 リハビリ専門職が支える避難所「生活」

公益社団法人大阪府理学療法士会 松岡 雅一

1-PD11-3 避難所の食事は「誰」が守る？！

兵庫県栄養士会／内閣府 (防災) 地域防災力強化担当 濱田 真里

1-PD11-4 災害関連死を防ぐこれからの避難所のあり方について～SUM基準のTKB48とは～

Jパックス株式会社 水谷 嘉浩

1-PD11-5 「生活の場」としての避難所を多職種で支える

一文献から読み解く保健医療福祉の関与の変遷と課題一

東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 佐々木宏之

■ワークショップ1

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第3会場 (2FスノーホールB)

災害医療従事者に知ってほしい妊婦と子どもの災害対応

座長 今井 一徳 (名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学)
神 美穂 (半蔵門のびすこどもクリニック)

1-WS1-1 災害時における小児周産期医療提供体制の現状と展望

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 上杉 泰隆

1-WS1-2 フェーズフリーという考え方

～小児周産期医療・保健に必要な支援と地域連携BCPについて～

高知医療センター 渡邊 理史

1-WS1-3 災害時に必要な子どもとその家族支援：

「災害時の子どもの居場所」づくりから見える課題

認定NPO法人カタリバ 稲葉 将大

1-WS1-4 医療依存度の高い児の災害対策における在宅避難の多角的検討と課題

新潟県長岡地域振興局 健康福祉環境部 (長岡保健所) 室岡 真樹

■ワークショップ2

1日目 (3月19日) 17:45～18:45

第4会場 (2F中会議室201)

フクシマのいま

座長 熊谷 謙 (新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター)
島田 二郎 (福島県立医科大学附属病院)1-WS2-1 東日本大震災時の福島第一原子力発電所事故による放射線災害の影響
および大規模住民避難の問題点

南相馬市立総合病院 及川 友好

1-WS2-2 福島第一原子力発電所における廃炉作業の進捗状況について

東京電力ホールディングス株式会社 鈴木 純一

1-WS2-3 コミュニティ再生に欠かせない医療

特定非営利活動法人富岡町3・11を語る会 青木 淑子

1-WS2-4 福島第一原子力発電所事故避難指示解除地域の医療の現状と課題、そしてこれから

福島県ふたば医療センター 谷川 攻一

■ワークショップ3

1日目 (3月19日) 16:35～17:35

第6会場 (3F中会議室302)

"問い"を育てる：メンターとメンティーが教える災害医学・医療研究の最初の一步

座長 越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)
原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

1-WS3-1 「芽生えた問い」気づき、育ててみた：メンティ編

藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 羽柴 涼太

1-WS3-2 「芽生えた問い」気づき、育ててみた：メンター編

藤田医科大学/新潟大学 和泉 邦彦

1-WS3-3 「日頃の疑問・課題を解明・解決したい！」積極的・独創的なメンティー編

福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 長谷川有史

1-WS3-4 「まずはバントヒットから」保守的・現実的なメンター編

福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 長谷川有史

1-WS3-5 災害を(広く)科学するーELSIの視点で"問い"を育てるメンティ編

京都大学大学院文学研究科 倫理学研究室 三羽恵梨子

1-WS3-6 災害を(広く)科学するー"問い"の種まきー

国立保健医療科学院 富尾 淳

■ワークショップ4

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第7会場 (展示ホールA1(特設))

原子力災害時にDMATはどう動くか

座長 相田 浩 (新潟県厚生連 柏崎総合医療センター 産婦人科)
 西山 慶 (新潟大学 救急集中治療医学講座)

1-WS4-1 原子力災害時の放射線防護措置により予想される医療ニーズとその対応

弘前大学 花田 裕之

1-WS4-2 原子力災害対策における原発立地県からみた制度上の課題

新潟大学 西山 慶

1-WS4-3 DMATの皆さま

なにとぞ原子力災害時も災害医療活動への従事を宜しくお願い申し上げます
 ～原子力災害医療・総合支援センターの立場から

福島県立医科大学 長谷川有史

■学生チャレンジ【学部生・大学院生・若手研究者部門】

1日目 (3月19日) 10:40～11:40

第5会場 (3F中会議室301)

(国際委員会企画) STUDENT CHALLENGE: EMERGING VOICES IN GLOBAL DISASTER HEALTH MANAGEMENT

座長 五十嵐 豊 (日本医科大学 救急医学教室)
 江川 新一 (東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学)

1-SC-1 Evaluation of Self-Efficacy in Non-Technical Skills Among Paramedic Student Volunteers: World Athletics Championships Tokyo 2025

Nippon Sport Science University Ueno Hina

1-SC-2 Disaster Relief Activities during the 2024 Noto Peninsula Earthquake Enabled by Disaster Education at Nippon Sport Science University

Graduate School of Nippon Sport Science University Saito Misato

1-SC-3 Cost-Benefit Analysis of Natural Disaster Management: A Scoping Review and Implications for Health

Department of Health Security System, Center for Health Security,
 Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan Watanabe Omi

1-SC-4 Deaths from Secondary Health Impacts of Disasters: Documentation Gaps in Japan and the Need for a Global Reporting Framework

Advanced Emergency and Critical Care Center, Japanese Red Cross Saitama Hospital Tsuboi Motohiro

1-SC-5 Activation of the WHO Emergency Medical Team Minimum Data Set in the 2023 Flood Response in Libya

Department of Public Health and Health Policy, Graduate School of Biomedical and Health Sciences,
 Hiroshima University Qoidah Nurul

■口演 1-1

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「BCP」を科学する

座長 小澤 和弘 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

矢野 和美 (社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 国際協力診療部)

1-01-1 病院電源喪失時における生命維持装置への緊急電源確保について

大阪府立中河内救命救急センター 西島 章

1-01-2 関連グループにおける医療機関・福祉施設のグループBCP策定の取り組み
～南海トラフ地震に備えて～

医療法人治久会 もみのき病院/高知大学大学院総合人間自然科学研究科 水口紀代美

1-01-3 「オールハザードBCP」の考え方

国際医療福祉大学 熱海病院 堀内 義仁

1-01-4 実災害に基づいたタイムラインで対応可能な災害に対する
BCP作成と院内災害訓練の実施

山形県立新庄病院 福田 拓也

1-01-5 がん診療連携拠点病院等におけるBCP策定状況と
都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会でのBCPに関する議論の実態調査

国立がん研究センター がん対策研究所 佐藤 綾子

1-01-6 平時から活用可能な病棟BCPの作成ー勤務変更, 病床管理への活用ー

埼玉病院 江津 繁

1-01-7 基幹災害拠点病院を対象とした受援体制構築の現状に関する横断研究
ーBCPにおける受援計画の整備実態を踏まえてー

兵庫県災害医療センター 成 俊浩

1-01-8 参画型アプローチによる災害拠点病院の防災体制改革
ーDMAT隊員の活用とBCP整備ー

京都山城総合医療センター 村田 智春

■口演 1-2

1日目 (3月19日) 10:10～11:10

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「人材育成」を科学する 1

座長 青木 正志 (茨城県立中央病院救急センター)

富田 啓介 (千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学)

1-02-1 防災リンクナース・防災リンクドクターを活用した防災訓練参加者を増やす試み

筑波大学附属病院 看護部 田中 聡社

1-02-2 平時にできないことは災害時にはできない!
～1スタッフが取り組む、災害にそなえた組織作り～

新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院 事務部総務課 今井 麻奈

- 1-02-3 DMAT隊員をファシリテーターとした院内訓練における
指導スタッフ育成の取り組み
筑波メディカルセンター病院 看護部 内田 里実
- 1-02-4 多数傷病者事案は地域を超えたAll Chibaで対応する
～医療は現場で活躍するのではない、病院支援で活躍するのだ！～
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 平林 篤志
- 1-02-5 病院機構所属の一病院を対象とした派遣型研修の成果と課題
－自由記述解析と災害訓練への展開－
大阪急性期・総合医療センター 医療技術部 セラピスト部門 高尾 弘志
- 1-02-6 当院の災害医療人材養成は全職種参加型の院内災害医療研修から始まった。
国立病院機構 高崎総合医療センター 町田 浩志
- 1-02-7 研修医の災害医療へのエントランスは十分か？
加古川中央市民病院 救急科 佐藤 圭路

■口演1-3

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「災害看護」を科学する

座長 立松 美穂 (独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 統括診療部)
増田由美子 (埼玉医科大学総合医療センター 看護部)

- 1-03-1 災害時救護所で活動する看護職の人材確保と研修の実態
－静岡県全市町調査に基づく報告－
浜松医科大学 地域創成防災支援人材教育センター 近藤 誠人
- 1-03-2 災害拠点病院における救急外来看護師の災害対応能力向上に向けた取り組み
茨城県立中央病院 救急外来 海老澤ひかる
- 1-03-3 東日本大震災復興期における看護師による長期的な支援活動の意味
－被災地の保健師の視点から－
日本赤十字北海道看護大学 尾山とし子
- 1-03-4 都市型搜索救助チームにおける看護師の活動
東京都立広尾病院 外傷センター 尾石 早織
- 1-03-5 医療的ケア児に対する個別避難計画策定への災害看護専門看護師としての関わり
鶴岡市立荘内病院 木村 晃一
- 1-03-6 災害時における診療看護師(NP)の役割についての考察
藤田医科大学病院 FNP室/救急総合内科 加藤 夏美
- 1-03-7 災害時に医療救護所での活躍を期待する登録看護師を増やす取り組み
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 野村 智久
- 1-03-8 重症エリアのコマンダーとなる看護師育成のための課題と対策
－地震発生直後から重症者受け入れまでに焦点をあてて－
順天堂大学医学部附属練馬病院 高橋 玲衣

■口演1-4

1日目(3月19日)16:05～17:05

第8会場(展示ホールA2(特設))

「院内災害対策」を科学する

座長 田治 明宏(広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学)
八十川雄団(社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 救急総合診療科)

- 1-04-1 災害時初動対応検証に対する映像記録の有益性—阪神淡路大震災から30年—
六甲アイランド甲南病院 循環器内科 水谷 和郎
- 1-04-2 病院の人工透析室における塩素ガス災害対策の一例
市立豊中病院 竹治 正展
- 1-04-3 院内発災を経験して明らかになった情報伝達の課題
健和会大手町病院 原 舞子
- 1-04-4 防災委員会BCMワーキンググループの設立における成果
～豪雪災害時の活動を振り返る～
新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター 行田 由香
- 1-04-5 現場医療活動における疼痛管理改善に向けた院内ルール改訂とその初運用事例
市立青梅総合医療センター 比嘉 武宏
- 1-04-6 放射線部門における発災時初期対応の標準化に向けた取り組み
岩手医科大学附属病院 阿部 裕平
- 1-04-7 災害拠点精神科病院に求められる機能に関する課題と対応
千葉県長生保健所 余田 悠介
- 1-04-8 桜島の大規模噴火を想定した事前病院避難シミュレーション
鹿児島市立病院 救命救急センター 吉原 秀明

■口演1-5

1日目(3月19日)17:10～18:10

第8会場(展示ホールA2(特設))

「災害訓練」を科学する

座長 上村 浩貴(国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)
切田 学(加古川中央市民病院 救急科)

- 1-05-1 災害訓練は質より量
沖縄県立南部医療センター・こども医療医療センター 後藤 法広
- 1-05-2 5年ぶりに再開した院内災害訓練の実施と課題
京都第一赤十字病院 救命救急センター 竹上 徹郎
- 1-05-3 手術室における地震・火災を想定した災害訓練の構築と実践
—アクションカードを用いた多職種連携訓練の取り組み—
新小文字病院 藤田 寛之
- 1-05-4 院内における水害対応に対する各部署訓練の開催
社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 高崎 裕介

- 1-05-5 サイバーテロ対応マニュアルを活用したシミュレーション訓練の実施と考察
公立昭和病院 井部 昌彦
- 1-05-6 夜間休日時間外発災への備え
ー 防災保安課との協働訓練から見た成果と課題 ー
東京女子医科大学病院 薬剤部/病院防災・減災対策支援室 小野寺美琴
- 1-05-7 院内亜急性期災害対応机上訓練の経験
佐賀県医療センター好生館 災害対策室/総務課 末安 正洋
- 1-05-8 災害医療訓練における意思決定支援と対応力向上の試み：
シミュレーションモデルを用いた反復的学習環境
芝浦工業大学 藤田 楓

■口演1-6

1日目 (3月19日) 18:15～19:15

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「災害対応」を科学する

座長 佐々木吉子 (東京科学大学大学院保健衛生学研究所 災害・クリティカルケア看護学分野)
吉田 隆浩 (高山赤十字病院 救命救急センター)

- 1-06-1 HFNC 多台数使用による酸素消費量増大と院内酸素供給逼迫への対応の検討
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 循環器内科 扇野 泰行
- 1-06-2 災害時に重症妊産婦を救うためのICU運用計画の策定
北里大学医学部 救命救急医学 服部 潤
- 1-06-3 大規模地震直後に高層階の分娩室に到達できない場合の代替分娩場所の検討
東京都立墨東病院 事務局 市原 英司
- 1-06-4 放射線部門における災害時初動対応に沿ったアクションカードの作成
和歌山県立医科大学附属病院 井上 健二
- 1-06-5 非属人的運用を実現するための備蓄倉庫利用環境の整備
長浜赤十字病院 松村 晟仁
- 1-06-6 大規模災害時における医療機関の燃料補給可能性に関する検討
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 鈴木 教久
- 1-06-7 東京都の医療対策拠点運用におけるアクションカード活用
東京都立多摩総合医療センター 清水 翔平
- 1-06-8 発災時のリハビリ室内での初動対応と課題について
～患者・スタッフを守るために～
日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション課 高根 良輔

■口演 1-7

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「原子力災害医療」を科学する 1

座長 庄古 知久 (東京女子医科大学附属立医療センター 救急医療科)
 細谷龍一郎 (湘南医療大学薬学部 臨床薬剤学研究室)

- 1-07-1 演題取下
- 1-07-2 原子力災害を想定した医療機関の病院機能維持支援に関する研究
 弘前大学大学院保健学研究科 前川 瑠星
- 1-07-3 医療機関における屋内退避時の空調運用の課題
 福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 松本 智絃
- 1-07-4 消防職員家族への意識調査
 一家族は消防職員の原子力災害時派遣活動についてどう感じているのかー
 佐世保市消防局/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 災害・被ばく医療科学共同専攻 岩本 玄樹
- 1-07-5 原子力施設立地地域における災害時安全管理の指標としての
 災害医療支援チーム活動指針の提案
 弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博
- 1-07-6 放射線防災におけるリスクコミュニケーションツールとしての
 原子力防災ガイドブック作成の試み
 福島県立医科大学大学院医学研究科 佐藤 美佳
- 1-07-7 夜間・休日帯における放射性物質汚染に対するアクションカードの作成
 獨協医科大学病院 放射線部 村岡 祐基
- 1-07-8 被ばく医療における事務職員の養生研修効果の検討
 福井大学医学部附属病院 救急部 森田 浩史

■口演 1-8

1日目 (3月19日) 10:10～11:10

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「原子力災害医療」を科学する 2

座長 伊藤 裕介 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)
 箱崎 貴大 (福島県立医科大学附属病院 集中治療部)

- 1-08-1 県原子力防災訓練への参加報告
 =複合災害想定での院内災害対策本部の立ち上げと
 他県よりの原子力災害派遣チームの受け入れの経験=
 唐津赤十字病院 酒井 正
- 1-08-2 福島第一原子力発電所事故災害により避難を強いられた市町村保健師の体験
 -他市町村に避難する住民の健康支援に焦点をあてて-
 日本赤十字看護大学 内木 美恵
- 1-08-3 原子力施設隣接県の原子力災害拠点病院である当院の活動状況について
 鳥取県立中央病院 医療局 放射線科 中村 一彦

- 1-08-4 原子力災害時におけるBCP策定に向けた看護師参集状況の検証
松江赤十字病院 須田 祐子
- 1-08-5 事務職員が原子力災害医療に関する専門研修を受けた効果について
浜松医科大学医学部附属病院 夏目 紗海
- 1-08-6 原子力災害時に有用な防護服着用動画の作成
浜松医科大学医学部附属病院 加藤 真嗣
- 1-08-7 当院職員における原子力災害医療の認知度変化
ー2023・2024年度アンケート結果よりー
鹿児島大学病院 救命救急センター・集中治療部 入来 泰久
- 1-08-8 看護管理者が考える原子力災害医療における看護師の役割と必要性
弘前大学医学部附属病院 三上 純子

■口演 1-9

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「DMAT」を科学する 1

座長 井原 則之 (社会医療法人近森会 近森病院)
楠 孝司 (社会福祉法人東京有隣会 有隣病院)

- 1-09-1 能登半島地震における小規模専門医療チームによる総合的災害支援の実態と
国際基準を使用した評価の検証
大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター 伊藤 裕介
- 1-09-2 能登半島地震におけるDMAT薬剤師による被災病院薬剤部支援の報告
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 天海 知明
- 1-09-3 DMATは歓迎されているのか
公立能登総合病院 圓角 文英
- 1-09-4 支援DMAT受け入れに難渋した経験からの改善策
市立青梅総合医療センター 遠藤 一平
- 1-09-5 能登半島地震に対して行なった三重DMAT派遣調整から考える
今後の派遣体制について
三重中央医療センター 信岡 祐
- 1-09-6 病院内での墜落外傷に対して東京DMAT出動が行なわれた1例
東京医科大学病院 石上 雄太
- 1-09-7 事態対処事案における大阪府警と大阪DMATの情報共有
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 矢嶋 祐一
- 1-09-8 福祉避難所開設における支援DMATと高齢者施設の協働体制の検証
JA三重厚生連 松阪中央総合病院 鈴木 紗知

■口演 1-10

1日目 (3月19日) 16:05～17:05

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「DMAT」を科学する 2

座長 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)
吉田 修 (市立大津市民病院 看護局)

- 1-O10-1 DMAT事務局による“Tranquil Passport”視察報告
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 増留 流輝
- 1-O10-2 石川県DMAT局地災害等対応力向上研修の実施報告と課題
金沢市立病院 中央診療部 放射線室 柏屋総一郎
- 1-O10-3 中国ブロック実働訓練における活動拠点本部設置の経験から見えた課題
独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 救急科 診療看護師 竹田明希子
- 1-O10-4 十勝岳噴火総合防災訓練でのDMAT活動と課題
旭川医科大学病院 救命救急センター 岡田 基
- 1-O10-5 発災3日目を想定した大規模地震時訓練実施の試み
松阪中央総合病院救命救急センター 谷口健太郎
- 1-O10-6 令和6年度中部ブロックDMAT実働訓練における業務調整員の活動実態と課題
～共起ネットワーク分析による検討～
三重県厚生連 松阪中央総合病院 向井 慎治
- 1-O10-7 EMISデータに基づくDMAT業務調整員の職種構成解析
－全体と救急救命士の二重焦点
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 木村 磨功
- 1-O10-8 東日本大震災被災地を会場とした派遣型実践研修、
日本災害医療ロジスティクス研修の意義－第11回報告－
岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 富永 綾

■口演 1-11

1日目 (3月19日) 17:10～18:10

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「救助医療」を科学する

座長 家田 淳史 (平成立石病院 救急救命士科)
甲斐聡一朗 (兵庫県災害医療センター)

- 1-O11-1 現場との連携により良好な予後を獲得したクラッシュ症候群の1例
豊橋市民病院 整形外科 福岡 大史
- 1-O11-2 厳冬期における救助隊員の都市型搜索救助活動に伴う脱水の特徴
旭川医科大学 脳神経外科学/札幌東徳洲会病院 高橋 未来
- 1-O11-3 海上自衛隊救難飛行艇US-2による洋上救難活動
海上自衛隊 航空集団司令部/海上自衛隊 自衛隊横須賀病院 松尾 勇気
- 1-O11-4 INSARAGから見た日本の災害救助現場の現状と課題
日本医科大学多摩永山病院/日本医科大学 救急医学教室/国際緊急援助隊救助チーム医療班 阪本 太吾

- 1-011-5 被災した都民の命を救う：東京DMATの局所災害における医療救護活動
日本赤十字社医療センター 諸江 雄太
- 1-011-6 狭隘空間内における救助医療と多機能連携：
国際緊急援助隊救助チーム医療班の取り組み
国立病院機構 災害医療センター 救命救急科/JICA 国際緊急援助隊 救助チーム 医療班 小崎 良平
- 1-011-7 神戸市消防局における救助隊と救急隊、医療との連携強化に向けた取り組み
～レスキューメディカルラリーを通じた相互理解とCSRの実践～
神戸市消防局 花村 直人
- 1-011-8 災害時急性期傷病救命のための国際的時間尺度と治療ガイドライン、
それを実現させる装備体系について
日本大学/新潟大学医学部 災害医療教育センター 照井 資規

■口演 1-12

1日目 (3月19日) 18:15～19:15

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「CBRNE」を科学する

座長 関根 和弘 (京都橘大学大学院健康科学研究科)
中林 洋介 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

- 1-012-1 院内 CBRNE 対応マニュアルの改訂 - 実効性を重視する取り組み
公立昭和病院 救命救急センター 小島 直樹
- 1-012-2 高知県での初めて行った多職種での CBRNE 災害机上演習
松山赤十字病院 救急部 森實 岳史
- 1-012-3 兵庫県の災害拠点病院における CBRNE 災害対策の実態調査～6年間の推移～
兵庫県災害医療センター 菊田 正太
- 1-012-4 当院における CBRNE 患者受け入れ訓練の継続的実施と課題
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 内堀 貴之
- 1-012-5 CBRNe、テロ、大規模自然災害、原子力災害等の複合事態に対処できる
医療従事者を育成するための統合型災害医療教育の提案
日本大学/新潟大学医学部 災害医療教育センター 照井 資規
- 1-012-6 ADDIEモデルに基づく「CBRNE状況下の看護」の授業設計
防衛医科大学校 佐藤 昭太
- 1-012-7 災害観の形成は特殊災害対応への従事意図を高める
- 医学生を対象とした教育における反復横断研究 -
福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座/福島県立医科大学附属病院 災害医療部 菅谷 一樹
- 1-012-8 院内職員を対象とした CBRNE 研修に関する考察
一般財団法人脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 災害医療部開設準備室/
一般財団法人脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 薬剤科 塚本 宇史

■口演 1-13

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「災害薬事」を科学する 1

座長 林 秀樹 (岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室)
藤本万理恵

- 1-013-1 日本赤十字社新潟県支部の救護員訓練における災害処方箋の記載についての講義
—能登半島地震で日赤救護班を現地本部で調整した経験から—
長岡赤十字病院 小林 和紀
- 1-013-2 長崎県での災害時に活動できる薬剤師の育成と医薬品供給についての今後の検討
長崎大学病院 薬剤部・災害医療支援室 若杉 和美
- 1-013-3 京都府薬剤師会における災害対応の取り組み
京都府薬剤師会／京都第二赤十字病院 薬剤部 川島 裕明
- 1-013-4 わが国における災害時医薬品供給のあり方を問い直す
藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦
- 1-013-5 国際基準を踏まえた医薬品品質管理の国内展開と教育体系化の課題
日本赤十字社医療センター 薬剤部・国際医療救援部 小林 映子
- 1-013-6 平時から災害時へつなぐ医療DX：インスリン依存患者支援のLINE連携システム
高邦会高木病院糖尿病内分泌肝疾患センター／JADEC (日本糖尿病協会) 安西 慶三

■口演 1-14

1日目 (3月19日) 10:10～11:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「熊本地震」を科学する

座長 竹中 隆一 (大分大学医学部 救急医学講座)
田中 啓司 (JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター)

- 1-014-1 災害医療支援室の設立とその歩み
—熊本地震を契機の1つとした災害対応体制の構築—
長崎大学病院 災害医療支援室 木谷 貴嘉
- 1-014-2 活断層に近接した地域災害拠点病院での熊本地震の経験と教訓を、
今後の災害時医療へ反映する
社会医療法人黎明会 宇城総合病院 松田 貞士
- 1-014-3 熊本地震での経験をもとに作成された災害診療記録と一体になった
病院トリアージ票
国立病院機構 熊本医療センター 救命救急科 清水千華子
- 1-014-4 熊本地震から教訓とて得たドクターヘリ派遣の在り方
久留米大学病院高度救命救急センター 山下 典雄
- 1-014-5 当施設における周産期災害対応への課題
—熊本地震の経験を活かして—
熊本大学病院 総合周産期母子医療センター 田口 弘美

- 1-014-6 熊本地震で行った病院避難を振り返る
～現状分析と課題シートを用い再評価してわかったこと～
社会医療法人潤心会 熊本セントラル病院 金田明日香
- 1-014-7 熊本地震の経験に基づく多職種連携を志向した避難所アセスメント研修の活動報告
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 内田 彩香
- 1-014-8 「最期の声を語り継ぐーKarin-Projectによる防災教育の取り組みー」
災害関連死を考える会 宮崎さくら

■口演 1-15

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「災害医療におけるAI」を科学する

座長 和泉 邦彦 (藤田医科大学 防災教育センター)
清住 哲郎 (防衛医科大学校病院 救急部)

- 1-015-1 生成AIはクロノロジーから現状分析と活動方針決定が可能か
浜松医科大学医学部附属病院 加藤 真嗣
- 1-015-2 非医療従事者の意思決定を支援する避難者支援AIツールの開発と検証
ー HUG研修を通じた共助強化の試みー
北海道大学病院 齊藤 良女
- 1-015-3 生成AIを用いたBCP評価に関する基礎検討
三重大学医学部附属病院 臨床工学部 行光 昌宏
- 1-015-4 災害対応レジリエンス向上に向けた行動支援型AIシステム構想
東北大学病院 救急科 古川 宗
- 1-015-5 検索拡張生成(RAG)を用いた健康危機管理業務引き継ぎ支援に関する研究
国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター 小森賢一郎
- 1-015-6 生成AI(ノートブックLM)を用いた病院災害対応文書群の矛盾解消と
持続的な整合性維持に関する実践評価
新小文字病院 熊 奈津代

■口演 1-16

1日目 (3月19日) 16:05～17:05

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「情報管理」を科学する 1

座長 鈴木 教久 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
高間 辰雄 (鹿児島市立病院 救命救急センター)

- 1-016-1 高精度即時コミュニケーションシステムを用いた被災者遠隔支援の試み
大分大学福祉健康科学部/大分大学大学院医学系研究科/大分大学大学院福祉健康科学研究科/
大分大学クライシスマネジメント機構/大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 徳丸 治
- 1-016-2 発災時におけるメッシュネットワークにより延伸した複数衛星回線の実践活用
奈良先端科学技術大学院大学 辻井 高浩

- 1-016-3 宇宙からのアリーナ・スタジアムの災害拠点化
—神戸市内にオープンした次世代型アリーナの実例報告—
スカパーJSAT株式会社 瀬尾 淳
- 1-016-4 基幹災害拠点病院における災害時通信環境の強化
—低軌道高速衛星通信の院内ネットワークへの収容とその効果—
香川県立中央病院 吉田 誠治
- 1-016-5 現場と本部の情報共有～デジタルホワイトボードを導入して～
神戸大学医学部附属病院 救命救急科 高山 和之
- 1-016-6 災害時の薬剤師法・薬機法特例を補完する遠隔医療の活用
—NPO法人遠隔医療災害支援機構による連携モデルの検証—
特定非営利活動法人遠隔医療災害支援機構/あかつきオンライン診療所/東京曳舟病院救急科 藤原 翔
- 1-016-7 道路被害を考慮した避難所の脆弱性の評価
芝浦工業大学 理工学研究科 藤田進太郎
- 1-016-8 災害時の院内情報共有のためのシステム開発とその有効性
清水建設株式会社 設計本部 上田 嘉之

■口演 1-17

1日目 (3月19日) 17:10～18:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「情報管理」を科学する 2

座長 安心院康彦 (帝京大学医学部 救急医学講座)
吉田 元治 (大阪府立中河内救命救急センター 検査室)

- 1-017-1 大分県における病院前12誘導心電図判読件数の医療機関別傾向
大分大学医学部附属病院 災害マネジメント総合支援センター 中嶋 辰徳
- 1-017-2 災害医療支援におけるAsynchrony (非同期性) の検討:能登半島地震の経験
湘南鎌倉総合病院 脳神経外科/東海大学医学部 脳神経外科学 堀田 和子
- 1-017-3 徳島市医師会会員による災害時安否確認訓練
徳島市医師会 救急・防災対策委員会/医療法人倚山会 田岡病院 救急科 上山 裕二
- 1-017-4 能登半島地震にみる災害時健康支援の情報連携課題とその構造的要因
慶應義塾大学 宮川 祥子
- 1-017-5 安否確認システムの運用見直しと訓練 (第3報)
横浜市立大学附属市民総合医療センター 荻田 義明
- 1-017-6 新EMIS移行に伴う操作研修の実施と課題の検討
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 辻本 朗
- 1-017-7 病棟看護スタッフにおける災害時連絡手段の比較検討
—メーリングリストとLINEの有効性を探る—
兵庫医科大学病院 一般病棟内科・外科 井上 幹也
- 1-017-8 QRコードを用いた簡易的トリアージ情報管理システムを
地域消防組織に展開する試み (第2報)
みさと健和病院 救急総合内科 山田浩二郎

■口演 1-18

1日目 (3月19日) 18:15～19:15

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「データ分析」を科学する

座長 佐藤 大 (東北医科薬科大学医学部 救急・災害医療学教室)
水野 浩利 (札幌医科大学医学部 救急医学講座)

- 1-O18-1 大規模災害時における道路・通信・宿営環境が救急活動に与える影響
—能登半島地震における三重県救急小隊の課題と実践的提言—
日本赤十字社 伊勢赤十字病院/三重県救急搬送医療連携協議会 宮崎伊佐夫
- 1-O18-2 大規模災害後の子どもの生活に関する文献検討
第3報 被災した子どもとの各専門職の関わり
防衛医科大学校医学教育部 看護学科 小児看護学講座 本宮めぐみ
- 1-O18-3 災害医学研究におけるデータ収集源と活用の現状と課題
東北大学 野中小百合
- 1-O18-4 南海トラフ地震では災害派遣精神医療チーム (DPAT) が何隊必要か? :
災害後の心的外傷後ストレス症状および抑うつ症状のメタ解析から
筑波大学人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 フロンティア医科学学位プログラム/
茨城県立こころの医療センター 矢口 知絵
- 1-O18-5 新型コロナウイルス感染症対応におけるDMAT看護師の看護実践の構造
県立広島大学 山田 裕紀
- 1-O18-6 大規模災害における医療・看護支援活動上の課題と構造的要因:
質的研究に基づく課題の抽出と持続可能な支援体制構築への提言
東邦大学 尾立 篤子

■ポスター 1-1

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「津波・浸水対策」を科学する

座長 安部 亮 (社会医療法人陽明会 小波瀬病院)
大山 太 (東海大学医学部 看護学科)

- 1-P1-1 カムチャッカ半島地震における津波警報発令時の対応と課題
市立函館病院 救命救急センター 武山 佳洋
- 1-P1-2 津波警報発令時の横須賀市の対応
横須賀市保健所 松川加奈子
- 1-P1-3 津波到達までに何ができるか? 第3報 —垂直避難の先に待っていた混乱—
市立室蘭総合病院 下館 勇樹
- 1-P1-4 地震等の実害のない津波警報 (令和7年7月30日) に伴う
本学の対応方針と振り返りについて
和歌山県立医科大学 宮田 亜季
- 1-P1-5 浸水被害を想定した救命救急病棟垂直避難訓練の概要
海老名総合病院 若井慎二郎

- 1-P1-6 簡易型止水板を用いた浸水対策の有効性の検証
地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 事務局 企画総務部 村上佑太郎
- 1-P1-7 内水氾濫に対応した止水板の運用マニュアルの作成
東京都立墨東病院 事務局 市原 英司
- 1-P1-8 止水板設置判断を契機とした防災体制見直しの一例
厚生連高岡病院 看護部 救命救急センター外来 南本 祐希

■ポスター1-2

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「支援者支援」を科学する

座長 白子 隆志 (下伊那赤十字病院)
吉岡 留美 (人間総合科学大学保健医療学部 看護学科)

- 1-P2-1 被災地における医事業務支援
海陽町国民健康保険海南病院 國永 直樹
- 1-P2-2 能登半島地震における支援者の健康管理
公立能登総合病院 圓角 文英
- 1-P2-3 避難所支援からみる民間NGO医療チームの役割 - TMATの30年の活動を通して -
NPO法人TMAT 野口 幸洋
- 1-P2-4 NGOの医療支援活動における事務職の役割
- 病院業務経験を生かした災害医療支援の可能性 -
NPO法人TMAT / 一般社団法人徳洲会 阪木 志帆
- 1-P2-5 フィールドホスピタル展開訓練を行い見えた課題について
医療法人徳洲会 四街道徳洲会病院 薬剤部 / NPO法人TMAT 柳川 拓哉
- 1-P2-6 災害時におけるウィメンズヘルスの課題に関する文献検討
京都橘大学 小野 愛梨
- 1-P2-7 災害支援活動に参加した女性看護師が派遣前から派遣後において感じた問題と対策
東京科学大学医学部 保健衛生学科 看護学専攻 新部 智佳
- 1-P2-8 見える英雄 / 見えないケア労働
——台湾・花蓮の消防士における災害、男性性、ヒロイズム
国立清華大学 人類学研究科 呉 恵如

■ポスター1-3

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害対応」を科学する 1

座長 嶋村 文彦 (千葉県総合救急災害医療センター 副病院長)
西 健太 (大阪急性期・総合医療センター 災害対策室)

- 1-P3-1 演題取下

- 1-P3-2 消防局と合同で行なった院内多数傷病者受入訓練
神戸市立医療センター中央市民病院 寺本 昇生
- 1-P3-3 2025年度 埼玉県国民保護訓練
深谷赤十字病院 長島真理子
- 1-P3-4 数年間連続参加している埼玉県国民保護実働訓練の変化
埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 園田健一郎
- 1-P3-5 愛知県重症外傷センターに指定された当院における
病院救命士の外傷診療への参画について
JCHO中京病院 江森 達輝
- 1-P3-6 地震等の災害発生時における診療報酬上の施設基準について
厚生労働省 保険局医療課 青木 大宗
- 1-P3-7 災害時の整形外科臨床能力を日常業務で意識していく試み
国立国際医療センター 福島 憲治
- 1-P3-8 原子力災害時の屋内退避計画における課題～病院支援の必要性和不確実性～
松江赤十字病院 田邊 翔太

■ポスター1-4

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害薬事」を科学する

座長 藤本万理恵
涌嶋伴之助 (鳥取大学医学部附属病院 薬剤部)

- 1-P4-1 災害薬事研修会実施に向けた取り組みと課題
～初開催に向けた取り組み～
国立療養所栗生楽泉園 百武 宏志
- 1-P4-2 西方沖地震の避難所における災害時処方医薬品の使用動向調査
福岡大学薬学部 健康危機管理薬学/宮崎大学医学部附属病院 森崎 愛夢
- 1-P4-3 災害時薬物治療を行う際に必要となる資材の作成と使用時の課題
NPO法人TMAT/医療法人徳洲会 四街道徳洲会病院 薬剤部 吉川 瑞帆
- 1-P4-4 震災に備えた市中病院ERにおける配置推奨薬剤の検討
名古屋市立大学病院 薬剤部 早川 智章
- 1-P4-5 災害・緊急時における医療機器の薬事承認等に係る考え方の整理のための研究
国立医薬品食品衛生研究所 山本 栄一
- 1-P4-6 深部静脈血栓症における抗凝固薬の使用状況
江東病院 循環器内科 高部 智哲
- 1-P4-7 災害処方箋の記載演習から見えてきた平時の課題
多根総合病院/薬剤部 岩井 裕香
- 1-P4-8 薬学生・薬剤師のための薬事トリアージ演習における
シミュレーション教材の開発 (第2報)
九州医療科学大学薬学部 薬学科 徳永 仁

■ポスター1-5

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「データ解析」を科学する

座長 萩原 康友 (名古屋掖済会病院 救急科)
森田 浩史 (福井大学医学部附属病院 救急科)

- 1-P5-1 東日本大震災後の双葉郡における災害関連死データ収集の現場の課題
福島県立医科大学 伊東 尚美
- 1-P5-2 欠番
- 1-P5-3 避難生活と仮設住宅での生活を経験した令和6年能登半島地震による被災者の
血圧の推移と血圧に影響を与えた要因に関する検討
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香
- 1-P5-4 能登半島地震被災地における高齢者の健診受診とフレイル率変化に関する調査
福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 阿部 暁樹
- 1-P5-5 クラスタリング解析を用いた東日本大震災後の南相馬市における
大腸がん検診受診状況の変化に関する研究
福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座/国立病院機構 災害医療センター 吉村 弘記
- 1-P5-6 自然災害時に、Footwrapは靴下を代替し得るか
相澤病院 形成外科 水藤 元武
- 1-P5-7 住まい再建までの長期化が被災高齢者の肥満
およびサルコペニア発症リスクに及ぼす影響
帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学講座/岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座 坪田 (宇津木) 恵
- 1-P5-8 WADEM 2025抄録群のトピック分析
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス 香田 将英

■ポスター1-6

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「救護所訓練」を科学する

座長 林 宗博 (日本赤十字社医療センター 救命救急センター)
三浦由紀子 (山梨大学大学院 医工農学総合教育部 博士課程 ヒューマンヘルスケア学専攻)

- 1-P6-1 ゼロから考えた現場で動ける緊急医療救護所の運用
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 木本 雅人
- 1-P6-2 院内大規模災害訓練と津市三師会開設救護所の同時訓練を実施して
国立病院機構 三重中央医療センター 竹田ゆかり
- 1-P6-3 行政と地区医師会との連携に基づく緊急医療救護所訓練から得られた課題
東京女子医科大学病院 病院防災・減災管理支援委員会 武田 宗和
- 1-P6-4 地方自治体の病院前救護所の設置に向けたチャレンジ
～新たな医療救護体制への移行～
静岡県磐田市役所 伊藤 貴規

- 1-P6-5 初めての病院前救護所訓練を実施したその評価と考察
医療法人社団誠馨会 新東京病院 増井 敏郎
- 1-P6-6 病院前救護所訓練の当院経営への寄与について
医療社団法人誠馨会 新東京病院 安倍 晋也
- 1-P6-7 冬季防災訓練の必要性和安全に実施するための課題について
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 吉川 靖之
- 1-P6-8 多職種学生対象の災害ロジスティクス演習 (SMILE) の運営評価
—新上五島町での第3回実施の事後解析—
長崎大学病院高度救命救急センター 遠藤 成矩

■ポスター1-7

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害訓練」を科学する 1

座長 佐藤めぐみ (福島県立医科大学附属病院)
中谷 宜章 (東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座)

- 1-P7-1 ここから始める災害対応力向上の第一歩
～多忙な非災害拠点病院の救急外来における災害時初動に関する図上訓練の実践～
一宮西病院 豊口 大樹
- 1-P7-2 地域病院の災害対応力の強化への支援
兵庫医科大学病院 雑賀 逸平
- 1-P7-3 ファシリテーションを活用した災害対策訓練の実践報告
—発災初動訓練、患者受け入れから手術室までの流れを通じて—
聖路加国際病院 救命救急センター 小田 美瑛
- 1-P7-4 院内訓練の振り返りと今後の課題 ～医療従事者の災害対応力の向上に向けて～
京都府立医科大学附属病院 野村 奈央
- 1-P7-5 体験を取り入れた多職種との災害訓練の効果
東京家政大学 柳橋 正智
- 1-P7-6 病院管理者向けに行なった災害訓練の振り返り
水戸済生会総合病院 井坂 健一
- 1-P7-7 A病院における災害時病棟業務継続訓練の再検証
富山市立富山市民病院 山路 修平
- 1-P7-8 院内災害訓練における「見える化」した運営支援体制の整備
関東労災病院 星野まりや

■ポスター1-8

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害関連死」を科学する

座長 内海 清乃 (国際医療福祉大学大学院 災害医療分野・国際医療福祉大学大学院 災害保健医療研究センター)
松田 宏樹 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

- 1-P8-1 災害後の長期的支援の必要性：福島原発事故後の災害関連死基準から得られた教訓
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 石川 悠杏
- 1-P8-2 災害関連死における災害弔慰金不支給処分取消等請求訴訟の症例検討
東京慈恵会医科大学医学部 医学科 加藤璃璃子
- 1-P8-3 慢性疾患を死因とする災害関連死の認定要件の検討
浜松医科大学医学部 医学科 高木 柊哉
- 1-P8-4 災害関連死認定の偏りとその是正策
浜松医科大学医学部 医学科 森崎 澁
- 1-P8-5 災害関連後遺症の定義付けについて
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 二上 純奈
- 1-P8-6 災害用段ボールベッドの体圧分散性に関するスコوپングレビュー
藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 羽柴 涼太
- 1-P8-7 青森県における酷暑期の避難所環境下での睡眠の質の評価
弘前大学医学部 保健学科看護学専攻 中松 樹
- 1-P8-8 「新たな困りごと」が視える実践型避難所シミュレーション
滋賀医科大学 大坪 琉奈

■ポスター1-9

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「院内災害対策」を科学する 1

座長 沢本 主悟 (札幌医科大学医学部 救急医学講座)
田中 航 (鳥根大学医学部附属病院 高度外傷センター)

- 1-P9-1 安否確認システムを活用した全職員を対象とした
災害時の登院に関するアンケート調査
一宮西病院 池戸 亮治
- 1-P9-2 病院災害対策に救急救命士が参画する意義
社会福祉法人同愛記念病院 中村 聡馬
- 1-P9-3 当院における災害時の職員の登院・帰宅困難対策
彩の国東大宮メディカルセンター 山田 千丸
- 1-P9-4 病院水害タイムラインの作成 その1
～2023年7月東北豪雨の再現シミュレーションに基づく災害対応開始基準の策定～
清水建設株式会社 技術研究所 長谷部雅伸

- 1-P9-5 災害時勤務可能職員数の予測と診療体制維持の課題：院内防災訓練アンケートから
三重大学医学部附属病院 薬剤部 森川 祥彦
- 1-P9-6 A災害救護病院における災害発生時の招集要請に応じる職員の実態調査
公益社団法人有隣厚生会 富士病院 赤平 法三
- 1-P9-7 災害対策訓練縮小化に伴う救命救急センター看護師への代替教育の効果検証
聖路加国際病院 救命救急センター 松井 沙樹
- 1-P9-8 師長と主任の災害対応における課題抽出のための調査
社会医療法人緑泉会 米盛病院 看護部 田原 彩乃

■ポスター1-10

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「多職種連携」を科学する

座長 染谷 泰子 (帝京平成大学健康メディカル学部)
山田 裕彦 (岩手県立大船渡病院 救命救急センター)

- 1-P10-1 防災・危機管理部門から見た部局間の情報連携体制の現状と課題
徳島大学 環境防災研究センター 坂東 淳
- 1-P10-2 災害時に求められる医療ソーシャルワーカーの役割
ー1.5次避難所現地責任者の実践分析から教育的示唆へー
神戸学院大学 伊藤 隆博
- 1-P10-3 災害時に動く地域資源：住民や団体・NPO・企業・大学等の支援機能の見える化
松本看護大学 原岡 智子
- 1-P10-4 病院救急救命士は災害現場で十分活動できるか？
～災害救護担当者と連携した病院救急救命士の教育体制の構築～
長浜赤十字病院 谷村 仁志
- 1-P10-5 在宅医療におけるフェイズフリーかつシームレスな
多職種連携支援システムの構築と地域レジリエンス向上
大阪府健康医療部 辻野 悦次
- 1-P10-6 三重県における多数傷病者対応訓練プログラムの開発と実践ー第2報ー
日本赤十字社 伊勢赤十字病院 説田 守道
- 1-P10-7 共通言語 (CSCAHHH) の理解を主眼とした多職種連携下の避難所訓練の工夫
南奈良総合医療センター 高山 良光
- 1-P10-8 災害時の保健・医療・福祉の連携を促進する多職種協働研修の実践報告
ー相互理解と協働関係の構築を目指してー
熊本赤十字病院 看護部手術センター 兼 国際医療救援部 救援課 小林 賢吾

■ポスター1-11

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害拠点病院」を科学する 1

座長 神原 淳一 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
竹上 徹郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)1-P11-1 災害拠点病院指定に向けた人材育成と組織体制の構築
ー災害対策委員会4年間の取り組みー

社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院 富永 千晶

1-P11-2 知ることからはじめる災害拠点病院づくり

社会福祉法人済生会 新潟県中央基幹病院 渡邊 晶

1-P11-3 災害拠点病院増床計画における当院の役割

大台厚生病院 鈴木 悠子

1-P11-4 地域災害拠点病院における災害対応能力の向上を図るための活動

地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 上田 篤史

1-P11-5 令和7年度大規模地震時医療活動訓練参加報告

社会医療法人敬愛会 中頭病院 仲宗根 智

1-P11-6 災害基幹病院における職員の災害対応能力向上を目指した訓練手法

千葉県総合救急災害医療センター 高橋 勇樹

1-P11-7 災害拠点病院における大規模災害時手術室運用訓練の取り組み

聖隷浜松病院 外傷救急外科/聖隷浜松病院 防災管理室 伊良部真一郎

1-P11-8 地域災害拠点病院に指定されてから初めての炊き出し訓練

伯鳳会 東京曳舟病院 救急救命士課 磯崎 千尋

■ポスター1-12

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「調査」を科学する

座長 奥村 順子 (長崎大学熱帯医学研究所)
高橋 耕平 (横浜市立市民病院 救急診療科)

1-P12-1 西方沖地震の避難所における抗菌薬の処方状況の調査

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学 中邑 風貴

1-P12-2 ふくしまシティハーフマラソンにおける医療救護体制の変遷

福島県立医科大学医学部 高橋 知己

1-P12-3 ミャンマー地震に対する国際緊急援助隊医療チーム1次隊の救護活動における
医薬品使用状況の調査

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学 中原沙知子

1-P12-4 医療系学生が被災地で災害医療を学ぶ
「災害医療 Study Days in 能登半島」の活動報告と効果の実証

国際医療福祉大学 田村 晃子

- 1-P12-5 新型コロナウイルス感染症流行時の子ども虐待に関する文献検討
京都橋大学 矢田 帆花
- 1-P12-6 令和6年能登半島地震 被災地診療所の発災後2週間の受診者分析
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 丸井 秀則
- 1-P12-7 高血圧患者の令和6年能登半島地震発災前後における血圧の変化
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 北澤 賢明
- 1-P12-8 石川県珠洲市における小学生に対する学習支援活動並びに発災1年半後の状況報告
千葉大学医学部 萱原慎太郎

■ポスター1-13

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「職能団体」を科学する

座長 恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院 看護部)
丸山 嘉一 (日本赤十字看護大学附属災害研究所)

- 1-P13-1 災害支援における医療ソーシャルワーカーの意義
国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局 中野めぐみ
- 1-P13-2 IMAT訓練・実動から抽出された課題に対する解決策の評価
日本医科大学千葉北総病院 海老原由季
- 1-P13-3 災害支援における心理職専門職能団体としての関わり
社会医療法人へいあん 平安病院 滝 友秀
- 1-P13-4 歯科における災害医療に対する認識の向上について
医療法人社団ニイガタクリニック 成澤 祥子
- 1-P13-5 災害支援が届きにくい鹿児島におけるJDA-DAT養成研修とDMAT連携
— 大規模災害での即応力
鹿児島市立病院 救命救急センター 高間 辰雄
- 1-P13-6 災害支援が届きにくい鹿児島におけるJDA-DAT養成研修の取り組み
(公社)鹿児島県養士会/鹿児島県立若駒学園 山下 雅世
- 1-P13-7 VMAT (災害派遣獣医療チーム) による避難所運営への介入と防災教育
始良市消防本部 上湯湯貴志
- 1-P13-8 避難所運営とペット同行避難
健生会土庫病院 中尾 武